

認定に関する参考資料

屋根30分耐火構造一覧

■ 断熱亜鉛鉄板委員会取得「従来認定」

	認定番号	対象折板	板厚 (mm) (JIS A 6514)	許容梁間 (m) (連続梁の場合)	裏貼り材 (商品名)	材厚 (mm)	タイトフレーム厚 (mm) (JIS G 3131または3141)
シングル折板	FP030RF-9325 (ガラス繊維シート)	馳1型	0.8以上	6.8以下	スーパーフェルトンⅡ ニュー不燃G	2~10	3.2以上
		馳2型					
		ルーフデッキ	0.6以上	4.0以下			
		W-500		5.8以下			
	V-300	0.8以上	6.8以下				
	FP030RF-9326 (無機質高充填フォームプラスチック) ※1種: 9mm以下 ※2種: 4mm以下	馳1型	0.8以上	6.8以下	フネンエース ハイエチレンスーパー しずかエース	9以下 4以下	
		馳2型					
		ルーフデッキ	0.6以上	4.0以下			
W-500		5.8以下					
V-300	0.8以上	6.8以下					

・従来認定に関する補足事項と注意

- 母屋とタイトフレームとの接合は正確に溶接して下さい。タイトフレームビス等での固定は対象外です。
- 耐火被覆について
床面から梁の下端までの高さが4m以上の鉄骨造の小屋組で、その直下に天井がないもの、または直下に不燃材料もしくは準不燃材料で造られた天井があるもの以外の梁は、1時間耐火被覆を施して下さい。
- 上記許容梁間は代表例として連続梁を表記しています。単純梁・片持梁の場合は折板分類により異なりますのでご注意ください。

■ 断熱亜鉛鉄板委員会取得「追加認定」

	認定番号	対象折板	板厚 (mm)	許容梁間 (m)	裏貼り材 (商品名)	材厚 (mm)	タイトフレーム厚 (mm)
シングル折板	FP030RF-0501 (ガラス繊維系断熱材)	ルーフデッキ (折板分類: K0920)	0.6~1.2	2.25以下	スーパーフェルトンⅢ ニュー不燃G-Ⅱ NSフネンGF	5~10	2.3~4.5
	FP030RF-0502 (ガラス繊維系断熱材)	W-500 (折板分類: K1525)	0.8~1.2	3.75以下			
	FP030RF-0633 (ガラス繊維系断熱材)	馳2型 (折板分類: H1750)		4.5以下			
	FP030RF-0925 (ガラス繊維系断熱材)	馳6型 (折板分類: H0930)	0.6~1.2	3.5以下	フネンエース ハイエチレンスーパー	4~10	
	FP030RF-0550 (無機質高充填フォームプラスチック系断熱材)	W-500 (折板分類: K1525)	0.8~1.2	1.8以下			
	FP030RF-0552 (無機質高充填フォームプラスチック系断熱材)	ルーフデッキ (折板分類: K0920)	0.6~1.2				
	FP030RF-0632 (無機質高充填フォームプラスチック系断熱材)	馳2型 (折板分類: H1750)	0.8~1.2	4.0以下			
	FP030RF-1496 (無機質高充填フォームプラスチック系断熱材)	馳6型 (折板分類: H0930)	0.6~1.2	1.85以下	スーパーフェルトンⅢ ニュー不燃G-Ⅱ NSフネンGF フネンエース ハイエチレンスーパー サウンドブルーFSF-2Rフネン	5~10 4~10 2~10	
	FP030RF-1877 (1)・(2) (ガラス繊維系断熱材) (無機質高充填フォームプラスチック系断熱材) (PET不織布制振シート) (1): 裏貼り材なし (2): 裏貼り材あり	馳1型 (折板分類: H1733)	0.8~1.2	4.0以下			

・追加認定 (シングル折板) に関する補足事項

- 鋼板は、ステンレス製は使用できません。
- 母屋とタイトフレームとの接合はアーク溶接となります。タイトフレームビス等での固定は対象外です。
- 溶接に関して
・馳1型/ルーフデッキ/W-500の場合、溶接長さは1箇所当たり20mm以上で、溶接は1谷当たり2箇所(谷部の両側)とします。
・馳2型/馳6型の場合、溶接長さは1箇所当たり20mm以上で、溶接は1谷当たり4箇所(谷部の両側×2箇所)とします。
- 母屋の耐火被覆について
母屋に1時間の耐火被覆を施して下さい。ただし、平成12年建設省告示第1399号第4号三号二の規定に該当する場合には、上記の耐火被覆は必要としません。

■ 日鉄鋼板株式会社取得「個別認定」

	認定番号	対象折板	板厚 (mm)	許容梁間 (m)	裏貼り材 (商品名)	材厚 (mm)	タイトフレーム厚 (mm)
シングル折板	FP030RF-1793 (無機質系断熱材)	L145	0.8以上	4.6以下	スーパーフェルトン 等	5	2.6以上
	FP030RF-1794 (無機質高充填フォームプラスチック)	L145	0.8以上	4.0以下	フネンエース 等	4	

※L145の耐火認定に関しましてはお問い合わせ下さい。

「注意事項」

許容梁間は耐火認定上の許容される梁間を意味し、正・負荷重に対する強度を保証するものではありません。物件ごとに適切な強度検討を行い、適正な支持間隔を確保して下さい。

断熱亜鉛鉄板委員会取得「追加認定」

認定番号	対象折板	板厚 (mm)	許容梁間(m)	裏貼材	グラスウール	タイトフレーム厚(mm)
FP030RF-1799-1(1)~(4) (スライド断熱金具対応)	馳2型 (折板分類: H1750)	上葺材0.8~1.2 下葺材0.6~1.2	5.0以下	※別表1	GW密度: 10kg/m ³ 限定 GW厚さ: 100mm (50mm×2層、又は100mm×1層)	2.3~4.5
FP030RF-1801(1)~(9)	W-500 (折板分類: K1525)		3.75以下	※別表2		
FP030RF-1802(1)~(9)	ルーフデッキ (折板分類: K0920)	上葺材0.6~1.2 下葺材0.6~1.2	2.5以下			
FP030RF-1879-1(1)~(4) (スライド断熱金具対応)	馳2型 (折板分類: H1750)	上葺材0.8~1.2 下葺材0.6~1.2	5.0以下	※別表3	GW密度: 16kg/m ³ 限定 GW厚さ: 100mm (50mm×2層、又は100mm×1層)	
FP030RF-1927(1)~(4)	馳6型 (折板分類: H0930)	上葺材0.6~1.2 下葺材0.6~1.2	3.5以下	※別表1	GW密度: 10kg/m ³ 限定 GW厚さ: 100mm (50mm×2層、又は100mm×1層)	
FP030RF-1944(1)~(4) (スライド断熱金具対応)	馳1型 (折板分類: H1733)	上葺材0.8~1.2 下葺材0.6~1.2	4.0以下	※別表3		

別表1 (FP030RF-1799-1/1927使用時の裏貼りの組み合わせ)

裏貼りの構成	(1)	(2)	(3)	(4)	組合せ 4種
上葺材	×	×	○	○	
下葺材	×	○	×	○	

×: 裏貼りなし
○: 裏貼りあり (無機質系又は合成樹脂系)

裏貼材の種類	商品名	厚さ (mm)
ガラス繊維シート断熱材	スーパーフェルトンⅢ	5~10
	ニュー不燃G-Ⅱ	
	NSフネンGF	4
	サウンドブルーFW-4Rフネン	
無機質高充填 フォームプラスチック	フネンエース	4~10
	ハイエチレンスーパー	
	しずかエース	
ポリエステル系不織布	サウンドブルーFSF-2Rフネン	2

別表3 (FP030RF-1879-1/1944使用時の裏貼りの組み合わせ)

裏貼りの構成	(1)	(2)	(3)	(4)	組合せ 4種
上葺材	×	×	○	○	
下葺材	×	○	×	○	

×: 裏貼りなし
○: 裏貼りあり (無機質系又は合成樹脂系)

裏貼材の種類	商品名	厚さ (mm)
ガラス繊維シート断熱材	スーパーフェルトンⅢ	5~10
	ニュー不燃G-Ⅱ	
	NSフネンGF	
無機質高充填 フォームプラスチック	フネンエース	4~10
	ハイエチレンスーパー	
	しずかエース	
PET不織布制振シート	サウンドブルーFSF-2Rフネン	2
	サウンドブルーFW-4Rフネン	4
ポリエチレン樹脂フォーム	フォームエース	2~10
	きららエース	3.6~5

別表2 (FP030RF-1801/1802使用時の裏貼りの組み合わせ)

裏貼りの構成	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	組合せ 9種
上葺材	×	×	G	G	×	P	P	G	P	
下葺材	×	G	×	G	P	×	P	P	G	

×: 裏貼りなし
G: ガラス繊維系シート断熱材 t=5~10mm
P: 無機質高充填フォームプラスチック t=4~10mm

裏貼材の種類	商品名	厚さ (mm)
ガラス繊維シート断熱材	スーパーフェルトンⅢ	5~10
	ニュー不燃G-Ⅱ	
	NSフネンGF	
無機質高充填 フォームプラスチック	フネンエース	4~10
	ハイエチレンスーパー	

追加認定 (ダブル折板) に関する補足事項と注意

- 断熱金具は形状寸法が決められています。認定番号ごとに多彩なラインナップがございますので、詳細につきましてはお問い合わせ下さい。
- 認定番号ごとに使用できる裏貼材、組合せの種類が異なりますのでご注意ください。
- 母屋とタイトフレームとの接合はアーク溶接となります。タイトフレームビス等での固定は対象外です。
- 溶接に関して
 - 馳1型/ルーフデッキ/W-500の場合、溶接長さは1箇所当たり20mm以上で、溶接は1谷当たり2箇所(谷部の両側)とします。
 - 馳2型/馳6型の場合、溶接長さは1箇所当たり20mm以上で、溶接は1谷当たり4箇所(谷部の両側×2箇所)とします。

日鉄鋼板株式会社取得「個別認定」

認定番号	対象折板	板厚 (mm)	許容梁間(m)	裏貼材	グラスウール	タイトフレーム厚(mm)
FP030RF-1896(1)~(4)	L145	上葺材0.8以上 下葺材0.6以上	5.6以下	※別表4	GW密度: 10kg/m ³ 以上 GW厚さ: 100mm以上 (50mm×2層、又は100mm×1層)	2.6以上

別表4 (FP030RF-1896使用時の裏貼りの組み合わせ)

裏貼りの構成	(1)	(2)	(3)	(4)	組合せ 4種
上葺材	×	×	○	○	
下葺材	×	○	×	○	

×: 裏貼りなし
○: 裏貼りあり (無機質系又は合成樹脂系)

個別認定 (L145ダブル折板) に関する補足事項

- 裏貼材の詳細 (商品名等) につきましてはお問い合わせ下さい。
- L145専用部材で構成されますので施工方法はメーカー仕様を順守して下さい。
- 溶接に関して
 - 溶接長さは1箇所当たり15mm以上とし、溶接間隔は働き幅ごとに4箇所以上とします。

三條物産株式会社取得「個別認定」

- FP030RF-0755 (シングル折板: 馳1型、馳2型/0.6mm~/スーパーフェルトンⅡ)
 - FP030RF-0143 (ダブル折板: 馳5型/裏貼り不可)
 - FP030RF-0458 (ダブル折板: 馳1型、馳2型/裏貼り不可)
- ※上記個別認定を使用される際は、専用部材等がありますので必ず事前にお問い合わせ下さい。